


瞬間

ロータリーにおける

Rotary  
E-Club of One Kuala Lumpur,  
Malaysia



ワン・ワールド、ワン・**KL**  
バーチャルに語る

第1四半期電子ニュースレター 7月～  
9月

ロータリー年度 2025–2026

進歩的。心で導く。バーチャルで  
繋がる。善のために団結する。

**UNITE FOR GOOD**

会長メッセージクラブ・アセン

---

ブリ最新情報

---

母子保健 ETalk 会員スキル調査

---

会員の声 - 歴代・新旧・過去からの声

---

第4回就任式

---

クラブ関連事項：10月～12月

---

誕生日の祝い

---

フレンドシップクラブ最新情報

---

「絆を深め、行動を促し、  
影響力を創出する」

UNITE  
FOR  
GOOD

## 会長メッセージ

親愛なるロータリアンおよび友人の皆様

ロータリー年度の第一四半期を終え、これまでの私たちの歩みの特徴づけてきたエネルギー、献身、そして親睦に深く勇気づけられています。7月から9月までのこの3か月間は、意義深く、また刺激的なものでした。

。私たちの共同作業が奉仕とつながり、そして私たち自身を超えた影響力創出についてであることを改めて認識させてくれました。

初のクラブ総会では、私たちの共有するビジョンと方向性を再確認し、力強いスタートを切ることができました。ジェンダーに基づく暴力とそれが子どもたちに与える影響についての講演は、家族や将来の世代に影響を与える問題に取り組む上での私たちの役割について深く考えるよう促す、力強くタイムリーなものでした。

会員スキル調査も重要な示唆を与えてくれました。私たちの間に存在する強みを確認できたことは喜ばしい一方で、成長が必要な領域を認識することも同様に重要でした。クラブとして、既に持つスキルを活かしつつ、必要な分野を強化し続けなければなりません。これには、多様な才能と情熱で私たちの奉仕活動を豊かにする新会員の獲得も含まれます。

この体験に含められた孤児たちの、単純でありながら深い喜びへとつながった。こうした瞬間は、ロータリーが人々と、  
私たちが育む関係こそが、あらゆる活動の核心であることを思い出させてくれます。

本号では会員の物語も特集しています——伝統と知恵の声を伝えるベテラン会員から、新たな発想と活力をもたらす新入会員まで。彼らは共に、私たちの成長に不可欠な継続性と刷新を体現しています。第4回就任式・資金調達ディナーもまたハイライトとなり、奉仕と親睦のために集うリーダーシップと結束の力を称えました。

今後の10月から12月にかけては、数多くの機会が待っています。「声を上げようプロジェクト」の開始、乳がん検診の取り組み、困窮家庭のためのディパバリ・チア、ポリオ・ディナーと4周年記念式典、そしてアンクル・トニーのスープキッチンによるクリスマス・チアの実施です。

また、他ロータリークラブとの連携を呼びかけています。ロータリーファミリー各位には、疾病予防をテーマとした歯科診療キャンプを含む意義あるプロジェクトで協力できるよう、ぜひご連絡ください。

さらに香港、日本、トリンコマリーのロータリーパートナーとの友好クラブ・姉妹クラブ協定締結も予定しております。こうした連携はロータリーのグローバルな広がりを示す証であり、国境を越えて協力することで私たちの影響力が倍増することを改めて実感させてくれます。

最後に、AGラジブ氏の言葉を引用して締めくくりたいと思います。「初日から会員は関与すべきだ——地域と世界で変化を起こす挑戦を受け入れよ」。この精神を胸に、共に歩みを進めましょう。



2025-2026年度 第1回クラブ総会 概要

2025年7月9日、当クラブは新ロータリー年度の初総会を開催しました。16名の会員がオンラインで集い、「善のために団結しよう」をテーマに、ビジョンの共有、最新情報の交換、そして今後の方向性を共に描きました。

テレサ・ベネディクト会長は、意図的な奉仕活動、透明性のあるリーダーシップ、そしてバーチャル空間においても人的つながりを維持することの重要性について、心からのメッセージで会員を歓迎しました。本総会では、プロジェクトと会員双方を支える体制構築への取り組みを改めて確認しました。



クラブ目標と戦略的方向性会員数を30名に拡大財

務の透明性を強化

デジタル関与の強化（コンテンツ、ニュースレター、データ追跡）

奉仕活動への参加率向上

□プロジェクトと取り組み

月経健康

メンタルウェルネスリテ

ラシーと教育

がん検診

委員会重点分野国際奉仕：新たな友

情

クラブ協定会員：維持と新規加入

青少年・職業訓練：インターアクトクラブ支援とメンタリング

管理・公共イメージ：内部コミュニケーションとブランディングの強化

ン

存在感を示せ。積極的に行動せよ。誇りを持って。

□参加によって築かれるクラブ

総会は、会員が「存在し、積極的に行動し、共に築くものに誇りを持つ」という行動喚起で締めくくられた。「リーダーシップが共有され、アイデアが歓迎され、奉仕が個人的に感じられるクラブ文化を築こう」

— テレーザ・ベネディクト会長

□クラブ財務報告：概算予算更新

会員会費の現状今後のプロジェクトに向けた資金調達  
戦略



# 7月のロータリーテーマ：母子保健



7月23日、ロータリーは母子保健月間を特集し、世界中のクラブが家族の絆強化と、子どもたちが健康で安全に支援を受けながら成長できる環境の確保に焦点を当てました。当クラブのEクラブトークでは、このテーマを異なる視点、しかし深く関連する観点——子どもと家族の感情的・心理的健康——から探求しました。

ゲストスピーカーは「傷から癒しへ」と題した力強い講演を行い、多くの方が幼少期の経験から抱える目に見えない傷に注意を向けさせました。これらの傷—無視、批判、見捨てられ、愛情の欠如—は単に年齢とともに消えるものではありません。対処されなければ、成人期に再び表面化し、人間関係や行動、さらにはコミュニティの健全性さえも形作ります。

## 隠された傷

講演では、害はしばしば感情的なニーズが満たされない、あるいは無視される幼少期に始まることが強調されました。多くのアジア文化では、痛み、トラウマ、精神疾患に関する沈黙が依然として深く根付いています。感情的な苦悩は軽視されがちで、子どもたちは自分の感情は重要ではないと思いながら成長します。ある参加者が指摘したように：「日本では長年タブー視されてきたが、インターネットとソーシャルメディアの台頭で状況が変わってきた」

## 癒しの道筋

癒しは気づきと思いやりある行動から始まる：

- 安全な空間を創り、批判なく率直に語れる場を
- セラピーやカウンセリングを当たり前のものとする
- 家庭や学校で感情リテラシーを教えること
- 自分自身から始める感情的な繋がり方を見直すこと
- 存在感と共感をもって傾聴する話し手が私たちに

思い出させてくれたように：「癒しとは他人を直すことではない。自分自身の中で安全になることだ。そうして初めて、私たちは他者にとって安全な存在になれる」

**沈黙と苦痛を次世代に受け継がせない世代となろう。代わりに、傷つけを共感へ、癒しを回復力へと変えていこう——私たちの子供たちのために、家族のために、そしてコミュニティのために。**

## ロータリーの重点分野 健康な母親こそがより強い 地域社会を築く

### 母体保健とジェンダー に基づく暴力 新たな視点

癒し、回復力、そして希望を育む。

## グローバルなロータリー・コネクション

本セッションは、香港、シンガポール、ジャマイカ、オーストラリアなど世界各国から参加したロータリアンとゲストによってさらに充実したものとなりました。異なる文化からの声が、世界中の子どもと家族が直面する課題への共通認識を映し出しました。この夜はロータリーの精神——地域への影響力を持つグローバルな連帯——を真に体現するものでした。

## 最終考察

7月は伝統的に母子保健の重要性を想起させる月ですが、この対話は感情的・心理的健康の必要性が同様に重要であることを明らかにしました。ロータリアンとして、私たちは食糧・住居・医薬品といった外的なニーズに応えるだけでなく、支援対象者の内面的な成長を育むことも求められています。

# 会員スキル&専門知識調査：成長を導く知見

## ロータリー外部関係者と共有する内部省察

### 🔍実施の背景

本調査の目的：

- プロジェクト、協働、リーダーシップにおける会員の能力を可視化すること
- スキルギャップとスキルアップの機会を特定する
- 特にオンライン環境において、メンバーを有意義な役割に適切に配置する方法を探る

13名のメンバーが回答（当時会員数の59%）し、当クラブの多様な能力に関する部分的ではあるが貴重な概観を提供しました。

### 🔍得られた知見

#### □今後の取り組み

#### 主要な強み分野

- コミュニケーションとブランディング：多くの会員がマーケティング、ソーシャルメディアコンテンツ、イベントプロモーションに確かなスキルを有していると報告。これはバーチャルクラブにとって大きな強み。
- 人道支援活動：資金調達、ボランティア調整、地域奉仕活動における豊富な経験は、地域および国際的な取り組みへの準備が整っていることを示唆しています。

#### 強化すべき点

調査からは以下の成長機会も明らかになりました：

- リーダーシップ育成：戦略立案、後継者計画、クラブ発展において自信があると自己評価した会員は少数でした。
- プロジェクト実施：プロジェクト設計、影響モニタリング、持続可能性計画に課題が見られ  
— 効果的で再現性のある奉仕活動には不可欠な要素です。
- デジタル戦略：コンテンツ作成には多くの会員が慣れている一方、ウェブサイト管理、分析ツール、CRMシステムなどのスキルを報告した会員は少なかった。
- 会員エンゲージメント：コーチング、オンボーディング、定着化戦略は、より体系化と創造性が求められる領域である。

これらの課題を解決するため、段階的なアプローチを採用します：

- 短期：ボランティア「スキルバンク」を構築し、会員が楽しめる業務にマッチングする。会議でスキルのある会員を顕彰する。
- 中期：プロジェクト設計とリーダーシップに関する会員主導の研修を開始。ローテーション制の役割とメンタリングの機会を創出。
- 長期的：包括的な「会員エンゲージメント&開発計画」を戦略目標に統合し、本調査を年次で実施する。

☐ この内部調査の詳細版 調査は 共有可能 共有 ご要望に応じて ご要望に応じて

REC1KLメンバーの皆様へ — ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。皆様の時間、洞察、そして存在が、すべての会員にとってより強固なクラブ形成に貢献しています。

読者の皆様、ロータリー関係者の皆様へ — この自己省察の一端が、共に成長する私たちの姿勢を示すことを願っております。

偉大なプロジェクトは常に人々と共に始まります。そして、私たちの人々をより深く知ることが、力強い第一歩なのです

善のために団結して



# 奉仕への乾杯：東京ワインテイasting 慈善イベント



ゲストの皆様は、リーデルジャパンによるワインテイastingレッスンを楽しみ、軽食付きのミニパーティーを満喫し、特別な贈り物を受け取りました。

参加費は1人15,000円で、ワインテイasting、記念品、慈善事業への5,000円寄付が含まれていました。総額95,000円（約2,950リンギット）が集まり、出席できなかったロータリアンからの寄付も寄せられました。集まった資金は子供たちに忘れられない体験を提供するために使われました：フランス料理のエチケットレッスン、フルコースの食事付きとによるテーブルマナー指導マナー指導。

2025年6月27日、ロータリーEクラブ・ワンクアランプール（日本オフィス）は、ワイン文化の世界的ブランド「リーデルジャパン」にて、親睦と慈善活動に満ちた素晴らしい夕べを主催しました。このワインテイasting慈善イベントは、優雅な集いであると同時に、地元の児童養護施設の子どもたちに向けたフランス料理のエチケット講座と高級レストラン体験を支援するという意義ある目的を創造的に実現する場となりました。会場選定には深い意図があった。リーデルとの提携により、洗練性と教育性を融合。従来の慈善ディナーを超えた参加型体験を提供した。東京地区から参加した多くのロータリアンにとって、このイベントはロータリー奉仕の革新的なアプローチ——楽しさと影響力、持続可能性を兼ね備えた手法——を体現するものとなった。

——楽しさ、影響力、持続可能性を兼ね備えた

手法を浮き彫りにした。マナー指導を超え、この取り組みは子どもたちに文化的豊かさ、新たな学びと経験から得られる自信を提供します。このイベントは、ロータリーが親睦と奉仕を融合させ、受益者にとって人生を変える瞬間を創り出す美しい実例となりました。

「奉仕は上品で楽しく、かつ影響力のあるものになり得ることをロータリーは証明している」

# ロータリー会員を称えて：奉仕と発見の旅

8月はロータリーがネットワークの強さと会員を結ぶ個人の歩みを祝う月でした。

ワン・クアラルンプール電子クラブでは、あらゆる物語が重要だと信じています。何十年にもわたる奉仕活動を振り返るベテラン会員も、初めての印象を語る新会員も、そのすべてが大切だと考えています。こうした物語は、ロータリーがなぜ人々に刺激を与え、つながりを生み、成長し続けているのかを私たちに思い出させてくれます。



このコーナーでは、ロータリーファミリーの声を紹介します。数十年にわたる奉仕活動で不屈の精神と目的意識を体現している2人のベテラン・ロータリアンと、入会したばかりの2人の新会員が、それぞれの第一印象と今後の活動への期待について語っています。

**奉仕における知恵：私たちが留まる理由** 一部のの人々にとって、ロータリーは単なる取り組みではなく、生き方そのものです。PAG エイミー・チンとPP フランソワ

彼らの個人的な旅、つまり創造力、回復力、謙虚さ、そしてグローバルな親睦の物語を語ってくれます。多くのロータリアンが、何十年も献身的な活動を続けている理由を、私たちに思い出させてくれます。

*TMcig»il'i»g P»fiosc.*

## PAG エイミー・チン — 創造性、奉仕、そして不屈の精神の旅

### ロータリーとの出会い

彼女のロータリーへの歩みは、2000年12月にメトロ・イポーRCで始まりました。謙虚さと奉仕を体現するリーダーたちに感化され、エイミーはすぐにその世界に没頭しました。2002-2003年度、彼女はクラブ初の女性会長として歴史に名を刻み、RIテーマ「愛の種を蒔こう」のもとで奉仕しました。**成長とリーダーシップ**

エイミーは2013-2014年度にモヒンダー・シン地区ガバナーの下で5クラブを指導する地区ガバナー補佐を務めました。ロータリー活動を通じてアジアをはじめ世界各国を訪れ、国際プロジェクト、交流、フェロウシップを通じて絆を深めてきました。

### 芸術、冒険、奉仕

エイミーの芸術とアウトドアへの愛は、奉仕活動と結びつくことが多い。チャリティー活動でエベレストベースキャンプやキナバル山に登頂し、アートによる資金調達活動では脊髄性筋萎縮症（SMA）患者の支援から青少年給食プログラムまで幅広いプロジェクトを支援してきた。彼女の描いたハイビスカスの絵画は、RI元会長ゲイリー・ホアン氏に贈呈された。

### 青少年のエンパワーメント

若者に情熱を注ぐエイミーは、国際交換留学生を受け入れ、職業訓練インターンを歓迎し、自身の子供たちにもロータリー青少年交換プログラムへの参加を促してきました。これにより、生涯続く友情と文化学習の機会を創出しています。

### 真のロータリー体験

数年前のこと、高速道路で車が故障したエイミーはロータリーハンドブックに助けを求めた。数時間後には地元のロータリアンが駆けつけ、ロータリーが真に世界をつなぐことを改めて実感させた。

### 回復力と再生

2021年に夫の病気で一時的に活動を控えた後、エイミーはワン・クアラルンプール・ロータリーEクラブでの奉仕活動を再開し、「愛の種を蒔く」という使命を継続している。

**新ロータリアンへのメッセージ**「関わり続け、謙虚であり続け、繋がり続けましょう。ロータリーは世界的な家族です



。あなたが捧げる奉仕の行為は、予想もしない形で何倍にもなって返ってきます」

□ **エイミーの歩みは創造性と勇気、思いやりに満ちたものであり、愛をもって奉仕することの意味を体現しています。**

# 帰属意識の再構築

## 奉仕の旅：フランソワと彼のロータリーでの歩み



フランソワにとって、「超我の奉仕」は、単なるモットーではなく、人生の指針となってきました。彼のロータリーとの関わりは、1991年にクアラルンプールのPDクラブにロータリークラブとして加入したことから始まりました。しかし、ロータリーとの関わりは、それより前にバンコクで、彼が働いていたホテルで地元のクラブが例会を開催していたことから始まっていました。当時は、仕事が多忙で加入は叶いませんでしたが、ロータリーへの興味は彼の心に残りました。

ついにロータリーに入会することを決めたフランソワは、その決断について次のように振り返っています。「一人では社会に貢献できることはごくわずかですが、志を同じくする人々と団結すれば、より大きな成果を上げられることに気づいたのです。

充実したキャリア、安定した家庭、そして多くの人が夢にも見られないほどの恵まれた環境に感謝し、彼は恩返しをする責任を感じました。ロータリーを通じて、彼はその貢献の場を見つけました。各プロジェクトは、特に奉仕を受けた人々の笑顔と感謝の気持ちという形で、深いやりがいをもたらしました。その「与える喜び」は、すぐに彼の原動力となりました。

ロータリーは、フランソワの個人的な成長にも貢献しました。リーダーおよびコミュニケーターとしての自信を築き、企業の役員室でも大規模な集会でも、多様な聴衆の前で効果的に話し、発表する能力を身につけさせたのです。

フランソワがペナンに移住した後も、彼はロータリーでの活動を続けました。ペナン州で最も評判の高いクラブのひとつで、そのクラブは、影響力の大きい大規模なプロジェクトで知られていました。クラブの高い評判は支援や寄付を集め、地元だけでなくマレーシア全土、さらにはその先でも有意義な取り組みを行うことを可能にしたのです。

フランソワにとって、ロータリーが与えてくれた最大の贈り物は「人」でした。しかし、ロータリーは今後も変化に対応し続けなければならないとも考えています。クラブが古くなるにつれて、新しい世代を惹きつけることが課題となっています。積極的な参加はロータリーの生命線であると彼は主張します。「全員が貢献することで、すべての意見が聞かれる活気あるクラブが確保されるのです。ロータリーはエゴを満足させる場ではなく、組織、責任、そして集団的な影響力のための場なのです」。

奉仕における謙虚さを大切にする一方で、フランソワはロータリーの良き活動を共有することの重要性も認識しています。それは自己宣伝のためではなく、他の人々にこの活動への支援と参加を促すためです。

今日、人生の新たな段階に入ったフランソワは、ロータリーEクラブ・ワン・クアラルンプールに加入しました。Eクラブの柔軟性により、彼は必要な移動の自由を楽しみながら、有意義な貢献を続けることができます。彼にとって、ロータリーは、善を行うことで結ばれた生涯の家族であり、充実感と目的意識の源であり続けています。



「ロータリアンであることの最も素晴らしい側面の一つは、世界中で善良な人々と出会い、どこに行っても常に友人がいるという機会を得られることです。



# 新たな始まり：アユミとアズリナ・ジャア ファールを歓迎



8月23日、ロータリーEクラブ・ワン・クアラルンプールは、グローバルな家族に2人の新会員を迎え入れる喜びに包まれました。東京から参加する日本人会員、丸山あゆみさんと、クアラルンプールから参加するアズリナ・ジャアファールさんです。彼女たちの入会式は、クラブの就任式と資金調達ディナーの前日という特別なタイミングで行われました。



## 新たな視点：ロータリーへの第一印象

### 象

新会員は常に新たなエネルギーと洞察をもたらします。REC1KLは新たな顔ぶれを迎えるとともに、彼らがもたらす独自の視点も祝福します。新会員たちが語るロータリーへの第一印象と、最も心躍る点をご紹介します。

## 入会から感動へ：アユミのロータリー体験

このクラブの新会員となれたことは、この上ない光栄です。同期のアンナと共に迎えた入会式は、この旅路の温かく意義深い始まりとなりました。

就任パーティーは実に壮大なイベントでした。様々なロータリークラブから多くの会員が集う姿は素晴らしく、広大なロータリーコミュニティを強く実感させてくれました。

クラブの親睦行事は、新たな居場所を知る素晴らしい機会でした。クアラルンプール初訪問の私にとって、チャイナタウンや都心部、美しい滝を巡る体験は忘れられません。

また、自然な環境の中で他の会員と会話を交わし友情を築く絶好の機会でもありました。さらに、夕方の散歩を兼ねた食料配布活動は深く心を動かされました。

この活動を主催する姉妹の献身的な姿勢には特に感銘を受けました。ホームレスの方々に対する彼女の優しさと思いやりは、私に大きな刺激を与え、ロータリーの中核的価値観を改めて思い起こさせてくれました。また、自然な環境の中で他の会員と会話を交わし、友情を築く素晴らしい機会にもなりました。さらに、夕方の散歩食糧配布活動は深く感動的なものでした。

## The Poee& o/ Çembe&zhip



この活動を主催する姉妹の献身的な姿勢に特に感銘を受けました。ホームレスの方々への彼女の優しさと思いやりは、私を深く感動させるとともに、ロータリーの中核的価値観を改めて思い起こさ

せてくれました。



# レガシー・ボイス：「創代会長の回想」

クラブのFacebookを閲覧していると、故ラジタ会長のこの投稿が目飛び込んできました！

会員増強月間を祝うにあたり、クラブを形作ってきた声にも思いを馳せます。2021年に創代会長ラジタ・ラジャリングムが記したこの回想は、奉仕・友情・自己成長というロータリーの本質を捉えています。彼女の言葉は当時と変わらず今日にも通じ、ロータリーがなぜ世界中の人々を鼓舞し結び続けるのかを改めて気づかせてくれます。

## 創設会長 ラジタ・ラジャリングム (2021年3月掲載)

「ロータリーは120万人の隣人、友人、リーダー、問題解決者からなるグローバルネットワークです。私たちは、人々が団結し行動を起こすことで、世界中、地域社会、そして自分自身に永続的な変化をもたらす世界を思い描いています。」

「私は学生時代にインタクターとなり、ローターアクターを経て、ついにロータリアンとなった時からロータリーファミリーの一員です...その意味を理解せずに理解もせずに...ロータリーは今の私を形作ったのです。」

「奉仕のために生まれた人は皆ではない。しかし、やがて親友や盟友となる仲間と共に地域社会を支える時.....奉仕はあなたの一部となるのです」

私の最も愛おしい思い出は、ほとんど何も持たない中で、友人や支援を通じて多くのことを成し遂げた経験から生まれています。そう、ロータリーは私に助けたいという気持ち、友を作りたいという気持ち、互いに寄り添いたいという気持ちを与えてくれました。ロータリーは私にもっと多くのことを与えてくれました。私は

「創設会長ラジタは、Zoomで世界をつなぐロータリークラブを構想した——情熱的な個人を集め、奉仕し、鼓舞し、変化をもたらすために。彼女のビジョンは、その遺産を受け継ぐ全ての会員の中に生き続けている。」

マノ・ストルナイオロ  
アメリカ



## マレーシアを共に探求する

クラブ発足式と資金調達ディナーの翌日、会員担当のフェリシエが、香港北角ロータリークラブ（RCHKNP）から訪れた海外会員と友人たちのために、温かく魅力的なプログラムを企画しました。

会員とゲストは景勝地カンチン滝へのハイキングを楽しみ、その後カンナズ・カレーハウスで楽しい昼食を共にしました。皆が伝統的なインド料理を味わう文化的な饗宴となり、多くの人々が初めて指で食べる体験に挑戦しました！もちろん、大人気のロティ・ティシューとロティ・カナイが主役でした。

### 奉仕活動の実践

その夜、会員とロータリー関係者はサマリタン・ホープ・ホームを訪問。ファティマ修道女と共にクアラルンプールの街を2時間歩き、困窮者に食料や生活必需品を配布しました。これはロータリーの目的「奉仕は自己を超越する」を強く想起させる活動でした。



アユミとアズリナにとって、これは単なる入会式以上のもの——ロータリーの精神とクアラルンプールの文化に没入する体験となった。クラブにとっては、成長と友情、そして奉仕の共有を祝う機会であった。

私たちは共に成長し続けます——人数だけでなく、  
目的と影響力においても

経験から得られる知恵から新たな出発の熱意まで、これらの物語はロータリーの真の強さを映し出しています。それは、あらゆる旅路が意味を持つコミュニティです。会員増強月間を祝うにあたり、これらの声が私たちに思い出させてくれるでしょう。なぜ奉仕するのか、なぜ留まるのか、そしてなぜ他の人々を招くのかを。



### 忘れられない出会い

翌日は交流を続け、ペタリン・ストリート、KLCC、チョウキットなどクアラルンプールの活気あるランドマークや裏通りを巡りました。



会員とは、物語であり、つながりであり、共有された目的です。

# なんて素晴らしい夜だったでしょう！

ロータリーEクラブ・ワン・クアラルンプール

## 第4回就任式&資金調達ディナー

色彩と文化、友情に満ちた夜ボリウッドをテーマにした祝賀会は、音楽とダンス、奉仕の精神にあふれた見事な成功を収めました。私たちは協力して、プロジェクトのために約30,000リングットを調達しました。



### □オークションのハイライト

PAGエイミー・チンの傑作「富と豊かさ」は象徴的な8,888リングットで落札されました（ジャンカルロ・マッキーニ氏、ありがとうございました！）。オンラインオークション、ホテルバウチャーオークション、ラッフルズによりさらに約10,000リングットが加わりました。

### □来賓

寄付者の皆様のご厚意により、PJ希望の家、サマリタン・ホープ・ホーム、キングダム・トランスフォーメーション・サンクチュアリの受益者の方々にご参加いただきました。



### ◎真に国際的な集い

30のロータリークラブが参加、うち14クラブはマドゥライ・ブロッサムRC（第3000地区、インド）の14名を含む30のロータリークラブが参加しました。同クラブは世界最大の女性限定ロータリークラブです。香港ノースポイントRCのピーター・ニ合長が専事をお迎えできたことを非常に思います。



### □エンターテイメント&サプライズ

日本人メンバーのユカ、ユキヨ、マサキ、アユミが「未来（Miraie）」を披露し、希望と結束を象徴する感動的なパフォーマンスで会場を包み込みました。さらに会員主導のフラッシュモブ「ダンシング・クイーン」と「コンガ」で会場は熱狂の渦に！ダンスフロアは炎のように燃え上がりました！





# ロータリーEクラブ・ワン・クアラルンプール

## 第4回就任式&資金調達ディナー

### □意義ある贈り物

REC1KLは、エドワード・クー総裁を称え、スンガイ・ブル病院と提携し、スンガイ・ジュダ出身の先住民女性5名を対象に乳がん検診を実施しました。これは従来のDG贈呈品に代わるものです。



### □国際親睦

エドワード・クー総裁立会いのもと、RCマドゥライ・ブッサムとの旗交換を祝賀。さらに8クラブが来賓との旗交換に参加。



### □表彰

その夜、私たちはIPPフェリシエールの卓越した貢献とリーダーシップを称えるだけでなく、一年を通じて揺るぎない支援を続けた彼女の配偶者、ジャンカルロ・マツキヤーニョ氏にも心からの感謝を伝えました。



私たちのテーマ「善のために  
よ」を体現する一夜となりま

。

この夜の成功は、一人ひとりの会員がチームとして結束し一当日の役割を担い、イベント前日に急遽モブダンスのリハーサルまで行いました！皆様からの多大なご支援に深く感謝し、謙虚な気持ちでいっぱいです。



<https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1jVunSAUXYjxXFgtG16xmiL0EAYKCuGI6>

# 更年期障害：理解、支援、そして共有の旅 PP フランソワ・G・シグリスト、PJK



9月のRECIKLは、ロータリーテーマ「基礎教育と識字」のもと、書籍の寄贈だけでなく、啓発活動も行いました。

第4回クラブ講演では、PP フランソワ・G・シグリスト氏（PJK）が、特にアジア文化圏ではあまり語られることのない、更年期障害について、**自身の体験から率直に**語りました。更年期障害は人生の自然な段階であるにもかかわらず、依然として広く誤解され、「女性の問題」として軽視されることが多いことを、同氏は私たちに思い起こさせてくれました。フランソワ氏は、女性が直面するホルモン変化や症状（気分のむらから身体の不快感まで）と、それらが個人的な人間関係や職業上の責任にどのような影響を与えるかについて話しました。

パートナーや同僚は、こうした変化を誤解して、不必要な葛藤を生むことが多いと警告しました。即座の解決策や、求められていないアドバイスをやるよりも、**共感を持って耳を傾け、忍耐強く、一貫したサポートを提供することが重要だと**訴えました。

「更年期は女性だけの旅ではなく、共有される旅なのです」

アジア社会では、パートナーや配偶者、家族と更年期について率直に話し合うことは、しばしばタブーとみなされます。この沈黙は、女性を孤立させるだけでなく、特に女性が介護者、専門家、コミュニティの一員として複数の責任を両立している場合には、**家族や職場に与える実際の影響**を見過ごしてしまうことにもつながります。更年期を女性だけの問題と決めつけることで、その周囲の人々に与える波及効果を無視してしまうのです。

討論の中で、参加者は更年期を取り巻く偏見について考察し、初期症状をどのように認識すべきか、また男性もホルモン変化を経験している（フランソワは、男性も女性も同様に、**自ら学び、安心して話せる場を作り、この人生の段階を個人の苦難ではなく、共有の旅として捉える必要があると強調**しました。

□ 私たち全員に求められる**行動は**、シンプルでありながら変革をもたらすものです。それは、身近な人と会話を始め、判断せずに耳を傾け、必要な場合は支援を求めることです。そうすることで、偏見を理解に、孤立を共有の力に置き換えることができるのです。

□ 「更年期は一つの章の終わりではなく、新しい章の**始まり**なのです」。

□ 「**ほてりは一時的でも、理解は永遠に続く**」



2025年10月～12月の予定

E-TALKS

実践するレジリエンス：苦難を力に変える  
深呼吸によるストレス軽減  
失われた食糧プロジェクト

プロジェクト

乳がん検診プロジェクト  
スピーキングアップ会話英語

ミーティング

理事会 - 第1木曜日クラブ例会 - 第2・第4水曜日

友好協定

香港北角ロータリークラブ  
日本RC OK

祝祭日  
乾杯

ディパバリ希望の灯  
クリスマス・スープキッチン

# 10月は経済とコミュニティ

## 開発月間

### ロータリーにおける経済・地域社会開発月間とは？

毎年10月、ロータリーは地域経済を強化し、持続可能な機会を創出し、地域社会の生活の質を向上させるプロジェクトに焦点を当てます。

重点分野は以下の通りです：

- 生計手段と技能開発の支援による貧困対
- 策教育、訓練、マイクロファイナンスを通じた経済機会の創出
- 尊厳を持って自立できる強靱なコミュニティ
- の構築不利な状況の連鎖を断ち切るための家族のエンパワーメント



これがなぜ重要なのか、そしてロータリーのテーマ「飢餓との闘い・基本ニーズの充足」とどう結びつくのか：

### 飢餓との闘い・基本的ニーズの充足：物資支援により

- 、家族が生存と祝祭のどちらかを選ばされる事態を防ぎます。
- 食料不安に対処することで、家族が最も基本的なニーズを満たす手助けをします。

### 尊厳の回復と文化の祝祭ディパバリのような祭りは

- 、希望、光、再生を象徴します。
- 家族が祝祭を祝うことを可能にすることは、
- 地域の誇り、包摂性、そして幸福感を育みます。

### 地域社会の強化

- 支援の行動は、コミュニティ内の信頼と連帯を構築します。家族は、見られ、評価され、支援
- されていると感じます。これは、コミュニティの回復力の基盤です。

10月には、セランゴール州クンダんで35世帯に生活必需品を提供し、尊厳と喜びをもってディパバリ（光の祭典）を祝えるようにします。

### 経済・地域開発への連携

この小さくも力強い行動は、コミュニティに成長の余地を与えることで、コミュニティを変革するという大きな目標に貢献します。

### □ 「人生を照らし、コミュニティを強化する」



# プロジェクトのハイライト

## 乳がん検診

2025年10月、ワン・クアラルンプール・ロータリーEクラブは、スンガイ・ブロ病院（SBH）と提携し、ケアリー島カンポン・スンガイ・ジュダに住む先住民女性を対象とした乳がん検診・啓発プロジェクトを開始します。



## 内容

本事業では、乳がん啓発月間に合わせ、20歳以上の女性50～60名を対象に検診を実施。乳房の健康に関する意識向上を図るとともに、早期発見サービスを提供します。

プログラム内容：

- 10月4日、SKスンガイ・ジュダにて地域啓発活動及び検診を実施。
- 10月8日～9日：マンモグラフィーまたは超音波検査が必要な選抜対象者に対し、SBHでの画像診断を実施。
- SBHの社会福祉制度によるフォローアップ支援（クラブが交通手段・食事・その他の手配を支援）。

**目的** 本プロジェクトの目的：

乳房の健康と早期発見の重要性に関する意識向上。

- ◆ 地域女性へのがん予防とセルフケア実践の教育。

医療専門家と連携し、検診とフォローアップケアへのアクセスを提供すること。

ケアリー島、カンポン・スンガイ・ジュダに住む先住民（オラン・アスリ）の女性に焦点を当てることで、早期診断による命の救済だけでなく、家族や地域社会にも役立つ知識を女性に提供し、エンパワーメントを図ります。



**「早期発見、持続的な保護」**

# SPEAK-UP: オンライン英会話 コース向け

## 自信を持って学ぶ

10月、教育福祉研究財団（EWRP）およびカマンディング・ロータリークラブとの協力による、エキサイティングな新イニシアチブがスタートします。私たちは共同で、16歳から24歳の若者に、将来を形作る重要な言語スキルを身につけさせることを目的とした、若者向けオンライン英会話プロジェクトを導入します。

本プロジェクトを通じて、私たちは以下を実現したいと考えています

- 若者が日常的・職業的な場面で英語を流暢かつ自信を持って使えるようになる支援。
- 実践的な職場スキルと面接スキルを身につけさせ、就職への道を開く。
- ロータリー会員と若い世代の間にメンターシップの架け橋を築く。
- スケーラブルでローテクな学習モデルをテストする

WhatsAppと対面サポートを活用したスケーラブルで低技術な学習

- 特に中退率の高い地域において、包括的な地域参加を促進する。

### 参加者：第一歩を踏み出す

支援が不足しているコミュニティであるクンダンとケルリングから、熱意あふれる若者たちが「Speak Up: English Confidence Programme」にすでに参加登録したことをお知らせできることを嬉しく思います。参加者たちは多様な夢を持ちながらも、英語力を向上させ、自信をつけ、より明るい未来の機会に備えるという共通の決意を持って参加しています。この12か月にわたる旅に踏み出す彼らの勇気は、プログラムの真髄を体現しています。若者たちが自らと地域社会のため、より強固な未来の礎を築く第一歩を踏み出す姿です。

## 成長を促す4つのブロック構成

クンダンとケルリングの若者たちが  
一歩を踏み出した — 成長と自信への  
1年間の旅の始まり

## ボランティア募集 メンター募集



献身的なボランティア・メンターたちが、Speak Upプロジェクトを支援するためにすでに名乗りを上げていることを、喜んでお知らせいたします。

メンターたちは、さまざまな専門的・個人的な経歴を持ちながら、共通の目的、すなわち、若者たちと一緒に歩み、励まし、実践、そして生きた経験の知恵を提供することを目指しています。

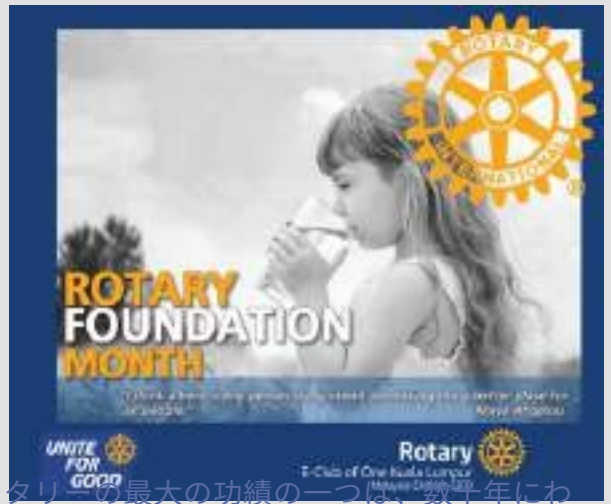
時間と心を捧げることで、これらのメンターは若者が自信を育み、新たな機会を開き、自らの可能性を発見する手助けをしています。共に「奉仕は自己を超え」というロータリーの精神を体現し、真の変化は思いやりのある人々から始まることを証明しています。



# 11月：ロータリー財団月間

ロータリー財団月間 — 私たちの奉仕の基盤であるロータリー財団を認識し、支援する時です。

活動の財団の驚くべき活動を称え、支援する月間  
ロータリー財団月間 — 世界理解を深め、  
善意を育み、そして平和。ロータリー the  
ロータリー財団は、保健、教育、貧困削減  
地域社会開発において世界的な取り組みを主導しています。



ロータリーの最大の功績の一つは、数十年にわたるポリオ撲滅への取り組みです。これにより症例数は99.9%減少し、ポリオのない世界がこれまで以上に近づいています。財団への寄付がこれを可能にしています。



## ●ポリオ撲滅ディナー&創立4周年記念祝賀会

今年11月、ロータリー財団月間を記念し、特別な夕べを開催します

:

- 日時：2025年11月5日
- 会場：ラフトカフェ（シエラマス）
- 目的：ポリオ募金ディナー&ラブ創立4周年記念祝賀会

## その意義

ポリオ募金ディナーへのご支援により、皆様は：

🔗 ロータリーによるポリオ撲滅の歴史的取り組みへの貢献

□ ロータリー財団のグローバルな善の使命を強化すること

□ 当クラブの奉仕と成長の歩みを称える

□ このイベントは単なる夕食会ではありません。奉仕と不屈の精神、そして私たちの集合的な影響力を祝う場です。集められた資金は直接「ポリオ撲滅キャンペーン」に充てられ、ロータリーがこの衰弱性疾患との戦いを終結させる支援となります。

同時に、ロータリーEクラブ・オブ・ワン・クアラルンプール創立4周年を共に祝います。4年間の親睦、自己を超えた奉仕、国境を越えた架け橋づくりを称えましょう。



# 12月



## ロータリーテーマ – 疾病予防 と治療

ロータリーは重点分野である疾病予防と治療を重視しています。これは、地域社会が長期的な健康増進を促進する医療、教育、支援システムにアクセスできることを保証する取り組みです。今月は、予防とタイムリーな介入、思いやりのあるケアが人生を変え、より健康な地域社会を築くことを改めて認識する機会です。

このテーマに沿って、REC1KLは、地域社会の恵まれない人々のニーズに対応するために設計された、コミュニティの健康とウェルネス活動に取り組んでいます。パートナーと協力し、より健康的なライフスタイルと早期介入を促進するために、基本的な健康サポート、ウェルネス教育、予防医療を提供します。

### □ クラブ親睦： 年次総会 & クリスマス パーティー

12月はまた、親睦と振り返りの月となります。年次総会に集い、クラブのクリスマスパーティーで年を締めくくります。これまでの進捗を振り返り、来年に向けて方向性を定め、

精神を高め、楽しむその一体感がロータリーを家族にする。

### □ □ クリスマス

### — アンクル・トニーのスープキッチン



この12月、私たちは季節の喜びを広げます。支援を通じて

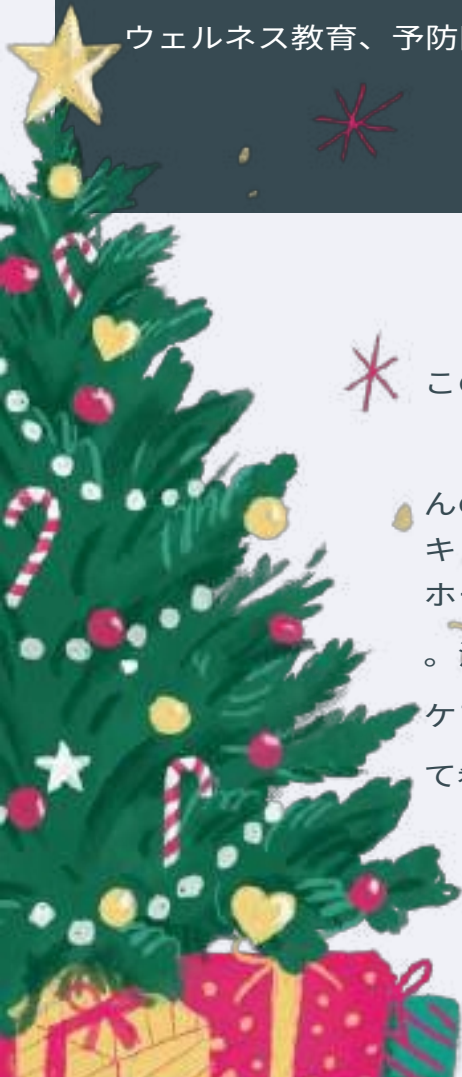
Food4U

—

アンクル トニーのおじさ

んの スープ

キッチン。メンバー およびボランティアs will アシストin 調理ホームレスや困窮者への調理済み食事の準備、梱包、配布を支援します。温かい食事と共に、衛生用品、ビタミン剤、お祝いのお菓子が入ったケアパックを提供します。これはクリスマスにおける健康、尊厳、そして希望の贈り物です。



UNITE FOR GOOD





HAPPY BIRTHDAY

*Rtn. Masaki Ono - 10月2日*

*カデロ・ユカ会員 - 11月10日*

*PP. Richard Churme - 12月26日*



**Rotary**   
E-Club of One Kuala Lumpur,  
Malaysia

**UNITE FOR GOOD**

# 姉妹クラブ ブ& フレンド

Rotary  
E-Club of One Kuala Lumpur,  
Malaysia

ワン・ワールド。ワン・KL。繋がりを大切に。

## □国境を越えた絆の強化

今四半期は□にとって特別な四半期となります。主な日程：

REC1KLは、ロータリーパートナーとの友好クラブ協定・姉妹クラブ協定を通じて国際的な絆を深め、●を推進する意義ある一步を踏み出します。

- 2025年10月22日 – 香港ノースポイントロータリークラブとのフレンドシップクラブ協定
- 2025年11月6日 – 2720日本O.K.ロータリーEクラブとの友好クラブ協定
- 2025年11月12日 – スリランカ・トリンコマリロータリークラブとの姉妹クラブ協定

一方、フレンドシップクラブ協定は親睦と協力の基盤となる一方で、一方、一方姉妹クラブ・契約はより深いより深いコミットメントへの共有された奉仕と長期的なパートナーシップ。

## 🌐これらのパートナーシップの目的

- これらの協定を通じて、当クラブは以下の取り組みを約束します：
- 定期的な交流（オンライン・対面）を通じた相互親善の促進
- 地域社会に真の影響を与える共同奉仕プロジェクトの機会を探求すること。
- 可能な範囲での会員間の個人・団体訪問の促進
- クラブプログラム、ニュースレター、その他のメディアの共有と交換。
- 親睦を深める 親睦 と 奉仕 を通じて 参加 への 各イベントへの
- 支援する 取り組み を 促進する 国際的な 友好、 世界理解、平和、善意を促進する取り組みを推進します。

これらのパートナーシップは、REC1KLの国際的な親睦の精神と国境を越えた架け橋を築くという私たちの取り組みを再確認するものです。姉妹クラブや友好クラブと共に、地域と世界の両方より大きな影響力を生み出すことを楽しみにしています。



&

# フレンドシッ プクラブ



E-Club of One Kuala Lumpur,  
Malaysia

ワン・ワールド。ワン・KL。繋がりを大切に。

## 友情と親睦を祝して

テレザ会長、フェリシエ前会長、ワン・クアラルンプール・ロータリーEクラブの皆様、8月24日の第4回就任式における温かいおもてなしに感謝申し上げます。

妻クインシーと私は、この記念すべき行事に参加できたことを心から光栄に思います。訪問のハイライトの一つは、サマリタン・ホープ・ホームとの共同コミュニティサービス活動への参加でした。20名以上の熱心なボランティアと共に、クアラルンプール・チャイナタウン周辺のホームレスの方々へ食料、水、果物、薬用オイル、その他の必需品を配布しました。このような思いやりの行動を目の当たりにし、深く感動しました。これはロータリーの「奉仕は自己を超え」という理念を美しく体現するものでした。

香港ノースポイント・ロータリークラブとREC1KL（クアラルンプール東地区）の友好クラブを正式に設立し、マレーシアと香港の両地域で人々の生活に寄り添う意義ある奉仕プロジェクトを共に推進できることを楽しみにしております。

PP ピーター・パノフト (香港北岬ロータリークラブ)

REC1KLにとって、未来のフレンドシップクラブである香港ノースポイントロータリークラブのメンバーが、第4回就任・資金調達ディナーに参加してくださったことは真に光栄であり、同クラブが当クラブの25-26年度プロジェクトへ寄贈してくださったプロジェクト資金に深く感動しました。この夕べ、香港ノースポイントロータリークラブは6枚のバナーを交換しました。

この交換は単なる伝統以上の意味を持ち、長く意義深く影響力のある絆の始まりを象徴しています。マレーシアと香港双方の人々の生活に寄り添うプロジェクトを通じ、この絆をさらに強

UNITE FOR GOOD

固にし協働できることを楽しみにしております。

# クラブ情報

## 設立日

2021年11月5日

私たちはグローバルに活動するバーチャル  
クラブです

お問い合わせはこちら：



週例会：毎月第**2**・第**4**水曜日 午後**8**時

メールアドレス：**rotaryclubkl@gmail.com**

編集チーム

PAG エイミー・チン & Rtn アリエザ・ヌール